

古民家山十郎付近の史跡・見どころ案内



1 古民家山十郎

平成元年7月26日オープン。明治初期の豪農の住居のすがたを示すものとして、町がその建物や庭園等を後世に残すために修復・保存をはかった古民家。なお、この建物は、平成2年1月9日「かながわ建物100選」に選定されている。春には花の香りに包まれる庭園も見もの。一般に開放され見学は無料。文化活動・研修・行事等における団体使用もでき、町民に親しまれている。



7 秋山の句碑
熊坂秋山（1854-1924）辞世
「行く秋のこころが果ぞ草の蔓」



8 亜浪の句碑
臼田亜浪（1879-1951）自筆。
「鶴のそれきり鳴かず雪の暮」



5 龍福寺

曹洞宗。海蔵山龍福寺といい、元和2年（1616）江戸時代の初期に開かれた寺で、開山は仏光普月禪師、開基は千葉（熊坂）金兵衛平宗仲である。宗仲は千葉金兵衛宗清の子で、龍福寺は、義侠の死を遂げた宗清の冥福を祈るため、宗仲と村人たちの共同発願により創建されたとの説もある。



9 香雲斎の筆塚

寺子屋「朝墨林」の師匠香雲斎梅沢泰順（1771-1852）の筆塚。
弘化三年（1846）8月に門弟中が建立。



2 一富坊の句碑（梅屋）

梅屋の梅香林一富坊（？-1872）
「降りやめばもとの土なり春の雪」
明治五年（1872）に建立。書は熊坂長庵。なお、元旅館で、亜浪の鶴の句はこの2階で詠まれた。



3 中津往還

かながわまちなみ100選
古民家山十郎前の通りをいう。古い町並みの気配が残り、往時をしのばせている。
付近には龍福寺や神明社があり、文化の薫り高い地域となっている。



4 神明社

鳥居をくぐってすぐ左手の境内南隅に「千葉金兵衛平宗清之碑」が見える。社殿は権現造りの中宮、棟木が鰻木で飾られている。例祭は4月5日、現在では熊坂氏だけでなく、楠・松台・下松台最寄りの鎮守となっている。



14 旧光勝寺の総門跡

八菅橋をわたった右側、七社権現の別当寺・光勝寺の総門（大門）があった所。石造りの基礎と柱の部分が残っている。
写真では案内板右側の石柱がそれにあたる。



15 海老名季貞の墓

八菅神社の大鳥居の前方100メートル、南斜面の段畑にある。平成2年に修復されている。海老名氏は村上天皇の皇子が平親王の後裔。源姓を賜り相模守として当国に下向し、この郷土に荘園を得て、在名を呼んで海老名と称した。八菅山信仰が厚かった源頼朝の命によって、八菅山に大日堂を建立した。



19 宝物館

旧八菅山光勝寺と、その寺務を司ってきた山内の院坊（修験）の遺物を収蔵・保管してある。かつての八菅山信仰が神仏習合（日本固有の神信仰と仏教信仰がまじりあったもの）の信仰であったことをよく示している。
館内に安置してある像のうち、役小角（役の行者）は修験道の開祖とされている人である。
※現在、一般公開はしていません。



18 八菅神社の梵鐘

〈町指定重要文化財 S54・7・1〉
元和4年（1618）徳川家康三回忌の供養にあわせて、三増合戦のおり地元民の犠牲となった熊坂金兵衛宗清の菩提のため、その子宗仲らによって献じられたと伝えられている。



24 展望台

八菅山いこいの森展望台からは、雄大なパノラマとして、町の素晴らしい景観が一望できる。
空気が澄んだ日には、新宿の町並みからスカイツリーまで見渡すことができる。



12 下谷の街道

かながわまちなみ100選
「しょうぶの里」として親しまれており、菖蒲が6月に見ごろを迎える。



13 八菅橋

以前は上流に木造の吊橋があった。



17 丈水の句碑

厚木市上依知の五柏園丈水（1718-1808）。
「遠近の笠も八菅や順の峰」



16 芭蕉の句碑

安政七年（1860）正月再建。
「蓬萊に聞かばやい勢のはつ便」

21 八菅神社

明治のはじめ、神仏分離令により光勝寺は廃され、七社権現は八菅神社と改称、今日に至っている。かつては、八菅山七社権現と別当の光勝寺を中心にして五十余の院坊があって、一山寺院を成し修験の道場であった。いま、山内には往時を偲ぶ遺跡・遺物が多くあり、一部は宝物館で保管されている。社にいたる参道の「スダジイ」の林は、平成元年度「かながわ美林50選」に選ばれている。このスダジイ林を含む八菅神社の社叢林は、平成3年に県から天然記念物に指定されている。



10 関戸芳孟の筆塚

筆学師範関戸芳孟（1805-1872）の筆塚。明治七年（1874）12月に総門生が建立。書は門下生の一人熊坂長庵。



11 中津層の露頭

中津層と呼ばれる地層の露頭地点の一つ。中津台地の基盤をなすもので、砂岩・泥岩質のもので形成期は新生代第三紀鮮新世（今から200万～300万年前）とされており、このあたり一帯が浅海であったころ、泥土が堆積されてきた地層。



22 経塚跡

善根をほどこすための業として、経典を後世に伝えるため地中へ埋葬したことにはじまる。この経塚は、平安朝末期から鎌倉時代初期の間ごろに作られたものと推測されている。



23 八菅山いこいの森

この森は、新町発足三十周年を記念して作られたもので、自然を保全しつつ、自然と人との調和のある安らぎの広場として親しまれている。アスレチックも充実し、大人から子どもまで楽しめる。



25 名桑春日の碑

春日と名付けられた桑の名を記念して建てられたものである。
名桑春日は町内には山十郎、二井坂子供広場、中津第二小学校、やなぎ公園（春日台）、県立あいかわ公園の5箇所にある。



20 若山喜志子の歌碑

「さがみのや 八菅の宮の宮柱ふりさびぬればいよたふとき」
若山喜志子は牧水の夫人。昭和11年、県下景勝45選入選を記念して、中津青年団で八菅神社に短歌・俳句を献詠したときの選者。その折来山し詠んだ歌。昭和53年3月建立。